

平成30年度 第1回西伊豆町立文教施設等整備委員会会議録

- 1 日 時 平成30年5月9日(水) 19:00～21:00
- 2 場 所 西伊豆町中央公民館(安良里) 3階多目的ホール
- 3 出欠席 委 員:別紙のとおり
事務局:清野教育長、高木事務局長、石田智直、山本みち代、
江畑和貴
- 4 傍聴者 0名

事務局長

こんばんは。皆さんお疲れのところ、また、ご多忙のところ、夜間の会合にお集まりいただき誠にありがとうございます。早速ですが、平成30年度第1回の西伊豆町立文教施設等整備委員会を開催させていただきたいと思えます。私は教育委員会事務局長の高木と申します。暫く進行の方を務めさせていただきますので、宜しく願いいたします。それでは、次第2の委員紹介になりますが、会議資料の1ページをお願いいたします。本日が今年度初めての会議でございますので、自己紹介をお願いしたいと思えます。新たに委員になられた方につきましては、名簿のお名前の横に(新)と記載させていただきました。また、新たに委員になられた方には、委嘱状をお手元にお配りさせていただいております。町長からの委嘱状交付につきましては省略させていただきますので、ご了承願います。それでは名簿順になりますが、高井副委員長より、簡単に自己紹介をお願いいたします。

—委員自己紹介— (省略)

それではここで、次第にはありませんが、清野教育長からご挨拶を申し上げます。

教育長

連休明けの週半ば、しかも1日のお仕事を終えてお疲れのところありがとうございます。これまでの大まかな経過と今後の展望について、私の方からごく簡単にお話をさせていただきます。詳細につきましてはこの後、事務局長の方から説明をいたします。始めに日本の状況ですけれども、総人口2008年がピークでその時の人口が1億2,808人。ところが2040年代には8,000万人まで減少する見込みです。そのなかで西伊豆町は全国的に減少しているなかでも激減の部類に入ります。昭和25年の人口は18,654人。ところが今年4月1日現在では、8,083人とピーク時の半分にならなっています。今年前半には8,000人を割るかと思われま

また、2040年には4,500人前後まで減る見込みです。現在の状況ですけれども、国の基準で田子小学校においては4学級が複式学級。県の基準で2学級が複式学級。また、賀茂小においては、昨年度末には2学年が国の基準で複式になる見込みでしたが、転校生が入ったために複式を逃れております。将来的な見込みですが、児童数・生徒数のV字回復と言うのは見込めないのが現状ととらえております。田子小と賀茂小は今後複式学級が進行するものと見られております。中学校は賀茂中学校と西伊豆中学校を合わせても、10年後には現在の賀茂中学校と同程度の生徒数になる見込みです。学校等統合についてですが、これが当委員会の議題となります。必要性や願いについては昨年6月29日におこなわれた「平成29年度第1回委員会」資料に載せておきました。一言で言えば「子どもたちは多くの子どもたちのなかで育てたい」更にもう一言加えるなら「園や学校を安全な場所に移したい」今まで何度か統合の話は出てきて、3年前には中学校統合の直前まで行って白紙撤回した経過があります。1年前の町長選、町議選においては、学校統合と高台移転を公約に掲げている立候補した町長、議員さんは複数いたかと聞いております。そうしたなかでこの委員会ですが、堂ヶ島洋らんセンター跡地への園と小学校の統合、移転を事務局案として提案させていただきました。中学校については、将来の町内2中学校と松崎中との統合を見越して暫定的に西伊豆中に置く提案をさせていただきました。中学校を設置する場所については賛否ありましたが、各園各校の統合と園、小学校の堂ヶ島洋らんセンターへの移転については、その方向でほぼ一致していたかと見ております。しかし、一部の委員さんが懸念していた堂ヶ島洋らんセンター跡地の欠陥が明るみに出たためにその案は廃案となりまして、前回の委員会のなかで新たに2案を提案させていただきました。本日は前回事務局が提案した2案に加えて、委員の皆さんから第3案、第4案の提案があればそれも踏まえて検討して、1つの案に絞り込んで文教施設等整備委員会案に出来ればと考えているところです。

事務局長

ありがとうございました。これからの議事進行につきましては、委員会規則第5条第3項の規定により、「委員長は、会務を総理し」とありますので会議の進行の方をお願いしたいと思います。

委員長

それではこれから私の方で議事進行をしていきますので、よろしくお願います。新しく委員になった皆さんも半分以上おりますので、先ほど教育長からの経過説明もありましたけれども、もう少し詳しい経過について事務局の方から説明をお願いします。

事務局長

それでは私の方から説明させていただきます。では、(1) 協議経過についてですが、会議資料の2ページをお願いいたします。平成28年度以前のは、昨年度の第1回の協議会資料に載せさせていただいておりますので、今回は平成29年度の協議内容について記載させていただきました。なお、今までの会議資料を引き継がれていない方がおられましたら、また、配布をさせていただきたいと思います。では、資料説明ですが、事前に確認をさせていただいていると思いますので、簡単に経緯を説明させていただきます。6月29日開催の第1回委員会では、統合に対する「文教施設等整備委員会の基本姿勢」や「学校等再編」の事務局原案をお示しいたしまして、ご意見をお伺いしました。統合場所については、園と小学校は旧洋らんセンター跡地、中学校は松崎中学校との統合も見据え、西伊豆中学校への統合を提案させていただき、様々なご意見をいただきました。ただ、会議当日までに、団体としての意見を集約出来なかったところもありましたので、次回の委員会までに各団体の意見集約し、再度協議することといたしました。9月27日開催の第2回委員会では、前回の委員会で示した統合案に対して、各団体から意見を伺い議論いたしました。園と小学校の旧洋らんセンター跡地への新設統合については大筋賛成でしたが、中学校統合については、西伊豆中学校でなく、賀茂中学校の方が妥当との意見もあり、次回の委員会までに中学校統合に関する比較資料を事務局で作成し、協議することといたしました。次に、3ページをお願いいたします。11月21日開催の第3回委員会では、旧洋らんセンター跡地の地盤等調査の中間報告を受け、地盤の状況や既存構築物構造、崖地の状況等に、多くの問題があり、もしも文教施設用地として利用するとなると、敷地整備だけで相当な額がかかる、業者からは20億円とか30億円になるとの報告があったことから、文教施設の候補地とすることを、町として断念した旨の報告をさせていただきました。洋らんセンター跡地が活用出来なくなったことから、次回の委員会までに、新たな再編案と検討資料を事務局で作成し、協議・検討することといたしました。次に、平成30年2月28日開催の第4回委員会になりますが、事前に配布した学校等再編、1案と2案になりますが2つの事務局案を説明し協議いたしました。様々なご意見をいただきましたが、意見集約までには至らなかったことから、改めて1案と2案を基本に各団体で再編案を検討していただき、再度協議することとなりまして、本日の会議となった次第でございます。以上簡単ではありますが、平成29年度の協議経過となります。続きまして、(2)の今後の子どもの数の推移となりますが、最初に訂正をお願いいたします。6ページをお願いします。一番上の西伊豆中学校の2018年度の2年生の37人とありますが、こちらを39人。合計を119人。その下の2019年度の3年

生を同じく37人を39人、合計を109人に訂正お願いしたいと思います。大変申し訳ございませんでした。では、(2)の「今後の子供の数の推移について」ですが、まず、7ページをご覧いただきたいと思います。こちらは、平成30年度の乳幼児、小中学生の数をとりまとめた表になります。表の一番上の色が付いているセル部分が、4月1日時点での今年度、平成30年度の出生予定数ですが、10月20日の出産予定日までで、仁科小学校区が6人、田子小学校区が3人、賀茂小学校区が3人の合計の12人となっております。今年度も町全体で20人前後になると思われます。今後、暫くは町全体で20人前後の出生数で推移するものと思われます。では、5ページに戻っていただきたいと思います。小学校の児童数の推移予想であります。黄色と水色のセルが、2学年合わせて16人以下となり、複式学級となる学年になります。1年生を含む場合は8人以下が複式学級となります。複式学級になりますと正規の教職員の配置が減ることになりますが、水色のセル部分は、2学年併せて15人か16人となっております。この人数であれば、静岡県独自の措置ですが、複式学級解消加配として、教職員を配置してくれます。

こちらの表のなかでは、田子小学校の2022年度をご覧になっていただきますと、2、3年生が合わせて16人で複式学級となり、7人の教職員配置となるところですが、県の複式学級解消加配が1人あり、8人の配置となります。とは言え、複式学級でない場合と比較すると、教職員数全体といたしましては1人減となり、校長、教頭を除く学級担任外の教職員はいなくなることから、学校運営は厳しい状況になってしまいます。では、一番上の仁科小学校になりますが、現時点では、6年後の2024年度までは複式学級は出現しない予想人数ではありますが、2024年度の2、3年生の合計が17人となっております。1人減ると複式学級の対象となってしまいます。6年後には現在の半分近くの児童数になると思われます。次に、田子小学校ですが、6年後まで、毎年複式学級が出現する見込みです。2つの複式学級となる年度も半分ありまして、そうなりますと、正規職員は校長・教頭以外は4人となり、学校運営も厳しい状況が続くと思われます。また、今年度の5年生8人は、全て男の子となっております。次に、賀茂小学校ですが、2021年度から複式学級が出現し、6年後の2024年度には、全学年が1桁の人数となりまして、全ての学年が複式学級になると予想されております。また、今年度の2年生の普通学級の8人は全て女の子となっております。一番下が、3小学校合計数になりますが、現在、静岡式35人学級の下限が撤廃されたことから、薄茶色の部分が2クラスとなる学年であります。残念ながら、2024年度に3小学校を統合しても、現状では全ての学年が1クラスになると見込まれております。また、2021年度の赤字のカッコ書きの部

分は、田子小と賀茂小の2校を統合した場合の人数になります。それぞれの学校で複式学級が出現するものが回避され、全てのクラスが2桁となり、教職員も9名が確保されるようになります。では次に、6ページの2の中学校、普通学級をご覧いただきたいと思います。1番上が、西伊豆中学校になりますが、現在は、全ての学年が2クラスになっておりますが、3年後の2021年度には、全て1クラスになる見込みであります。教職員の配置も現在の12人から3人減の9人となってしまい、教科専門の教職員が減ることになります。10年後には、現在の賀茂中学校規模となる見込みであります。次に、賀茂中学校ですが、3年後の2021年度には、今より更に生徒数が20人程減少し、各学年がほぼ10人となってしまいます。更に、11年後の2029年度には、1、2年生が4人となり、複式学級となってしまい、教職員数も校長と教頭を含めても6人ということになってしまいます。次に、1番下の2校合計をご覧いただきたいと思います。3年後の2021年度では、今年度より50人程減少し、9年後の2027年度には、統合しても全ての学年が1クラスになるものと思われれます。以上、今後の子供の数の推移の説明とさせていただきます。

委員長

それでは、ただいまの(2)の「これまでの経過について」と「今後の子どもの数の推移について」、事務局の方から説明があり、その中で統合について説明がありましたけれども、洋らんセンター跡地に幼稚園と小学校を新設するという話は委員のなかで意見がまとまって、後は中学校をどうするかという話まで行ったのですが、これがボーリングの結果、建物に適した地盤ではないという結果になりまして、その代替案ということで、前回の委員会で示していただきまして、皆さんに協議してもらいましたが、特にPTAの役員の皆様は私たちだけでは決められないということで、その案を持ち帰っていただきまして、各役員で検討して今日持って来ていただけたということですが、前回は終了したので、皆さんの引継ぎでもあったかと思うのですが、とりあえず各幼稚園、小学校のPTAの皆さんの意見を聞いて、それからそれについて協議したいと思いますので、順番に仁科のこども園の方から持ち帰った案について、まとまった意見がありましたら発表をお願いします。

鈴木(誠)委員

今回仁科認定こども園の方で、文教施設等整備に関しまして保護者の方にアンケートを実施していただきました。アンケートの結果、意見は賛否ありましたが、第2案の方がいいという意見が若干多かった気がしますが、かといって第1案賛成という意見も無視できませんので、仁科認定こども園としては、どちらの案に決定と言うのは言い切れませんので、その1点をご理解していただくと共に、今回のアンケートの結果を述べさせていただきます。

第2案に賛成という意見は、こども園の方は、交通に時間が掛かってしまう。小学校と同じ場所にあった方が、兄弟が一緒の場所にいるので安心できる。教育施設が近くにまとまっている方が良い。兄弟関係で園と小学校にいる場合、園のお迎え、学童保育利用時に小学校に迎えに行くとなった場合、離れていると大変である。などありまして、第2案は送迎を気にしております。その送迎の方を行政の方にサポートしていただければ、説明していただければと思います。続いて第1案賛成については、安全面が第1ということで、安良里地区の高台に移転すれば安心できる。小さい体では避難は難しいので、最初から安全な場所があれば親は安心できる等ありました。それと、その他の意見として、新校舎新設にあたり、1階を駐車スペースにしたり、2階を教室にしたりするなど工夫してほしい。小学校を統合するにあたり、3校同時期に統合することができないか等ありました。西伊豆中が賀茂中校舎に移転した場合、大沢里から宇久須に通学にかかる時間のロスが大きい。新校舎が完成するまで、安良里まで通学する際の負担がある。第1案で新校舎が完成するまで、賀茂中に通うのではなく、西伊豆中を今の西伊豆中グラウンドにプレハブ校舎を建て、グラウンドを仁科小のグラウンドを借りられないか等、様々あったのですが、先ほど述べたように賛否あるので、どちらかの意見とは言い切れないので、その点を行政のほうで考えて欲しいと思います。

安達委員

伊豆海認定こども園のなかでも、第1案、第2案それぞれ意見がありまして、1つに集約できない現状です。ただ、全体的に見て感じられるのは、安全を第一にさせていただきたいこと、統合するにあたってのスクールバスを、費用だけでなく、勤めている親御さんたちの事情もありまして、そういったことの明確なこと、どういった形になるか知りたいということでした。まず、安全面を整備していただければ、第1案、第2案どちらでもという意見もありました。私がまとめられるのはここまででした。

鈴木（道）委員

特にはないです。

高柳委員

仁科小については、賛成意見がかなり多く、反対も多少あるのですが、今見ていると1案と2案の違いが良く分からなく、どちらもメリットとデメリットを提示していただいた方が、この表を見ただけでは両方とも同じような感じで、すこしニュアンスを変えただけのような感じがします。仁科小としては、統合には賛成という意見が多かったです。以上です。

山本（貴）委員

よくわからないのですが、明日田子小学校は役員会がありますので、そこで校長先生と話をし、意見を取り入れて、次回までに意見をまとめておき

たいと思います。以上です。

長島委員

賀茂小学校ですが、1案2案を把握しておらず、ここで報告することはできません。すみません。

鈴木（仁）委員

西伊豆中学校です。僕もあまり多々理解は出来ていないですが、もし統合になった場合、全児童・生徒の移動が可能なのか。時間が早く、どこに統合するにしても、全部が利用するという事なので、朝早くから動くお子様や親もいると思うのですけれども、沢山意見を言われて、私も賛成の意見、反対の意見もありますので、まだはっきりしていない所もありますので、中学校の校長先生や職員、役員と話し合いをして報告したいと思います。以上です。

高木委員

賀茂中学校での学校再編についてのアンケートの集計結果についてですが、1案に賛成。浸水区域外というのは親が望むことだと思う。防災対策は今まで以上をお願いしたい。2案に賛成もあります。子どもの減少によるやむをえない状況ならば2案でもやむなし。部活動の選択をするならば2案がいいと思われる。松崎や他市町との統合も視野に入れた方がよい。子どもが減るのに大金を使って校舎を建設するのは意味がないと思う。賀茂中学校が安全だと分かっているなら、中学は賀茂へ。幼・小は川や海、山の災害が起こらない場所が良いと思う。西伊豆中が海、山、川に近すぎる。現西伊豆中は怖い。統合することには問題は無い。制服や学用品の購入についての細かい情報についても教えてほしい。どちらになっても町の決定に従う。早期の合併を希望する。統合には賛成。児童・生徒数が激減すると分かっているながら、高額な費用で新校舎を建てる必要はない。現在の校舎を利用するのがよい。子どもが減っているのに新設するのはもったいない。統合しなければならぬと思う。前回、説明会に出て、西伊豆中は1階が浸水するとあった。新校舎建設にはそこをしっかりと考えて貰いたい。子どもの命の他に教職員の安全も考えて貰いたい。1階を駐車スペースにしてもいいのでは。地域の避難場所、町のイベントに活用など、莫大な税金を使うのであれば、住民も活用できるようにしたい。登下校の安全確保も考えて貰いたい。このように莫大な被害が予想される西伊豆中に新校舎を新設するのは理解できない等のアンケートの集約結果です。

委員長

前回の時に、1案2案について説明をして、それについて別の案もあればということで各PTAの方で協議をしてくださいということで話が終わったのですが、なかなかうまく伝わっておりません。とりあえず今の話をまとめ

ますと、統合はある程度やむを得ないという考えだと思うのですが、この1案2案がどうなのかと言うのを、PTAの会長さんもみなさん新しくなられた方なので、もう少しその辺について事務局の方に説明していただいて次回までに検討してきたいという意見も何個かありましたので、事務局の方から説明してもらえますか。

教育長

経過のなかで堂ヶ島の洋らんセンター跡地の方が使えないという結論が出た時点で、いくつか案があったわけですが、その案の1つのなかに高台移転に拘って、らんの里堂ヶ島跡地も1つの選択肢にあったわけですが、しかし、この委員会のなかでそこは考えなくてもいいだろうというなかで、さまざま候補地をあたりました。それ以前にも候補地を考えていたわけですが、それから候補地は無いのかと改めて探しましたが、なかなか適当な候補地が見つからないです。浸水域でない所を求めようとしたならば、仁科側の上流域か宇久須川の上の方、安良里にあるというようなことでそこを1案のなかの安良里の立地に考えました。そして、他をどこに置いたら良いのかということで考えた時に、やはり現在の仁科小、西伊豆中しかないだろうという結論です。これは町内全域から通う生徒のことを考えてのことです。そこに狙いを絞って考えて見た時に、津波浸水域ということ克服しなければならないですし、それは工事の方で先ほどお話のなかに1階部分を駐車スペースするという話も出てきましたが、それも含めて1階部分の駐車スペースにする、または土地全体を嵩上げする、それから園の事も考えたならば、園庭も含めて嵩上げも考えていくという方向で、津波浸水域であるけれどもその浸水域から嵩上げ等によって外したいというところで考えたわけですが、かなりお金がかかります。かかりますが、町長は安全のためならばお金はいくら出してもということをお願いしておりますので、そのところはあまり考えることもないかと考えます。そして仁科小と西伊豆中の現在の場所ですが、そこにこども園、小学校、中学校、3つを全て持ってきたとしたならば、かなり無理があります。それほど広い土地ではありません。そこへとどこの学校種を持ってくるというところで、まず修学年数の長い小学校を基本に考えました。そして、小学校とこども園の組み合わせが第2案です。小学校と中学校の組み合わせが第1案です。そのような違いになります。小学校をどこに置くか、こども園をどこに置くかについては、こども園が仁科のほうから外れた場合は、安良里に置きたい。中学校が現在の仁科小、西伊豆中の所から外れた場合には現在の賀茂中学校に置きたいという提案です。

委員長

教育長の方から説明がありましたけれども、とりあえず今の仁科小、西伊豆中を基本に考えて、2mくらいまで浸水域となっているかと思いますが、

そこを嵩上げて新設するには、2 m位土地を嵩上げて、建物もなおかつ下を駐車場にしてその上に建物を建てるというような設計の話になると思うのですが、とりあえず浸水域から外してあそこに建物を建てたいというのが基本的な考えで、その建物を建てる時に幼稚園、小学校、中学校、3つを同じ場所に建てるのが一番いいかと思うのですが、3つを1つの土地に建てられるほど広い土地ではないということで、幼稚園と小学校を仁科地区に建てるすると中学校はどこかにもっていかなくてはなりません。その場合には今の賀茂中学校を基本に考える案と、小学校と中学校をそこに持っていくと幼稚園をどこかに持っていかなければなりません。その場合には安良里の診療所の近くに幼稚園を新設します。1案と2案の違いはそこが違います。幼稚園と小学校を同じ場所に持っていくか、小学校と中学校を同じ場所に持っていくかという違いなので、今の仁科小については、どちらについても今の場所に建てることになるので、そこまで変わりはないかと思えますけれども、それを基本に前回の委員会の時も、幼稚園、小学校、中学校を新設して、莫大なお金をかけても、すぐにまた人数が少なくなって廃校ということになってしまうと税金の無駄遣いではないか、今の既存の施設を使ってそんなにお金をかけないで出来ないかと言う案も出ましたし、もし仮にいつか校舎も必要で無くなったら、防災施設として活用した方がいいのではないかという意見も出ました。そのなかで、最終的にどのような統合が良いのかと言うのは、最初の委員会のなかでも言いましたが、この委員会で結論を出して、それが即採用されるのではなく、最終的には町長が判断する話になっておりまして、こういう案がいいのではということを経理へ答申するような形で、どうしても結論がまとまらない場合には、2つくらい案を出して町で決めてくださいということになるのか分からないのですが、とりあえずある程度の意見を次の会合までくらいには形にしたいと思っているので、そのことも踏まえて次までに意見をまとめて、今回は2つの案について意見や聞きたいことがあればお願いします。

森委員

この案で、仮に2案になった場合、先ほども言うておりましたけれどもこの前の会合の時も、仁科の方からこのような意見も多かったのですが、大沢里の方から賀茂中学校に通学するのは現実的なのかという意見が出たのですが、そういうことになった場合に町としたら子どもたちの負担を軽くするということは考えてはいないのですか。例えば始業時間を遅くするなど。30分も遅くすると西伊豆中学校に通っている時間くらいには間に合うのではないのでしょうか。そうすると授業時間を短くしたり、日数が少なくなりますけれども、それは夏休みや冬休みを利用して補充するような考えはありますか。それはできるのでしょうか。県内でも昨年そのような話はあった気が

します。それは意味合いが違って先生方負担を軽くするような内容で見送られました。そのようなことは考えていないのですか。

教育長

年間何時間の授業をおこなわなければならないという国の基準がありますので、なかなか始業時間を遅らせるということは厳しいことだと思います。ただ現在西伊豆中の方では朝練習をやっておりますか。

桑原委員

はい、おこなっております。

教育長

始業時間より前に部活動の朝練習をやっている学校がほとんどですので、そうなった時には朝練習には出られなくなるということが出てくるかと思いますが、大沢里を出る時刻については、これまでとそこまで変わらないのではないかと考えております。ただ通学にかかる時間と言うのは長くなるかと思っております。

委員長

その場合に東海バスと交渉して、何時にバスを出してくださいという、始業時間に間に合うように大沢里からの始発のバスを出してもらうことは出来るのですか。

事務局長

現在の始発のバスですと、当然賀茂中学校には間に合わないのです、東海バスには交渉しなければならないと思っております。ただ通常のバスではなく、学生バスということで小型バス等を田子バイパスなどを通して、直接賀茂中へ行けるようにするなど、出来る限り短時間で行ける方法は検討したいと思っております。

鈴木（誠）委員

アンケートで田子小と賀茂小が統合する時に、仁科も統合してはどうかという意見もあったのですが、それは可能なのでしょうか。

教育長

校舎の建設については、今のところ考えているのが現在の西伊豆中の校地内へと建設したいと考えております。そうした場合にグラウンドがなかなか新しくなって出来なくなりますので、その場合には現在の仁科小の校舎を取り壊してそこをグラウンドにしたいと考えております。その流れからしてみますと仁科小学校は新しく校舎が出来るまで、現在の校舎が使えるということになります。ただ隣で相当音も出たりしますので、静かな環境というのは保てなくなるということはお出できます。

事務局長

先ほども3校を一緒に統合したらどうかと言うご発言があったかと思いま

すけれども、事務局案としては先ほどもお話をさせていただきましたけれども、賀茂小学校、田子小学校の複式学級が出てくるなかで、なるべく早く複式学級を解消したい、教育環境を整えたいというのが事務局の考えであります。先ほどの児童数の推移を見ていただければ分かります通り、児童数が減って複式学級が田子小、賀茂小で増えてきまして、教職員の数も減ってくるということになりますと非常に学校運営も厳しくなります。実は現在複式学級の部分については、町が負担して、複式学級の補助教員を配置しております。今のところは1人だけの配置となっておりますが、複式学級が増えてきますと、町がどこまで配置できるか分かりません。補助教員が配置されなくなると、さらに学校運営は厳しくなるという状況になります。そういうことを避けたいというのが事務局の思いであります。

高柳委員

それならば3校いっぺんにまとめて、教職員の数を一気に減らした方が良いのではないのでしょうか。今の意見だと、先生の数を確保するためにとりあえず賀茂小と田子小を統合して、複式学級にならないようにということですが、それならば生徒を1校にまとめて、先生の数を多くすれば町の負担はもっと少なくなるのではないのでしょうか。

事務局長

先生方については県の負担となっております。今申し上げた複式学級になった場合に町が負担している教職員の方がいらっしゃるということです。2校の統合と言うのは複式学級をまず解消したいということが1番でございます。なるべく早く3校統合できることが1番だとは思っております。

委員長

みなさんざっくばらんに意見を言ってください。

安達委員

今回私は初めてこの場に参加させてもらったのですけれども、実際私の息子は昨年度、複式のクラスで勉強させてもらいました。それに対する弊害と言うことは、感じはしなかったのですが、それを含めてですが、今西伊豆町が置かれている学校教育について、例えばプリントで渡されたものを拝見して感じることはあっても、その時の意見をその時に言うことはできません。今回この2案あるわけですけれども、これも紙面でアンケートを取っていただいて、その時には考えたりするのですが、なかなかその場で言う場がありません。可能がどうか分からないのですが、全体で保護者を集めて説明会があったらいいのではないかと気がします。

教育長

説明会につきましては、この場で1つの案が絞られて、その方向でやっていきたい、進めていきたいのでご理解いただきたいという説明会と言うのは

この後予定しております。

森委員

逆ではないのですか。

山本（豊）委員

先に該当者の意見を聞いて、それらを汲んだ上で案を作ったらどうだというのが今の話ではないでしょうか。

安達委員

私たちは細かい事情が分かりません。どういうことが問題になっていて、こういう風になりましたと言うのが、紙を読むのと言葉で説明されるのではちょっと理解する度合いというのは違うと思います。その時に分からないことはその場で質問することも出来ますし、生で話を聞けた方が理解度も変わるのではないかと思います。その上で意見も出てくるような気がします。

教育長

まずはここに出てきた皆さんに、所属団体で意見を聞いていただいて、その上で方向性を決めて、それからお話をさせていただければと考えているわけですが、逆だというお話も出てきているわけですが、何十人何百人を相手にこのような議論をした時にそこで果たして話がまとまるのでしょうか。その辺りが読めない所です。

安達委員

私がPTA会長で、ここで出た話を園の方へ持って帰りまして、委員会の時に話をします。それから各保護者へと報告して、またアンケートなどの形で取りまとめて、それをまとめても1人1人の意見を読むだけになってしまうので、それを1つの形にするというのは園単位ではどうなのかと思います。そこまでの詳しい条件なども分かりませんし、こういう話がありますという話は出来ませんが、そこから具体的に園としての意見としては言いにくい気がします。

教育長

大変難しさは分かりますが、そこを何とかというお話になりまして、例えばこれだけの人数でもなかなかまとまりません。それが本当にそれぞれの場所に行って何十人を相手にお話しをさせていただいて、どうしようではまとまりにくいのではないかと私は考えます。

副委員長

ここで皆さんに説明するというのはわかるのですが、PTAの皆さんが父兄を集めて説明するというのは到底無理な話で、その話し合いの場で質問を受けても答えることが出来ない。そういったところに説明に行つて、どうでしょうかということではなく、説明をするだけでもだいぶ違うのではないのでしょうか。PTAの役員のみなさんがそれをやるというのは大分難しい。

私も地域を預かる身なのですけれども、それは難しい。ですので、町の方で説明会を開いてもらい、この1案2案の話をしてもらうだけでもだいぶ違うのではないかと思います。

事務局長

今副委員長がおっしゃったように、分からない部分については事務局が向いて説明することはやぶさかではございません。実は先日も賀茂幼稚園と伊豆海認定こども園の統合につきまして、要請がありましたので保護者説明会をおこないました。ですので、PTA会長さんから要望があれば事務局が行って説明するとは問題は無いかと思っております。当然そこで結論を出すということではなく、ここで皆さんに説明した内容と同様の説明させていただき、その後の取りまとめ等については各PTAの方でお願いをして、ここでもう一度議論していただくような形になるかと思われまます。

高柳委員

10が10賛成になるのは、PTAの父兄によってもあり得ないので、例えば第1案のメリットとデメリット、第2案のメリットとデメリットをもっとPTA会長が説明できるような資料を提示してもらえれば、父兄には説明しやすくなると思います。

事務局長

前回も会議のなかでなかなか結論が出ない、各団体との協議が整っていないということで、この会議までには各団体でこの1案2案について協議をしていただくということになっておりました。そのなかで検討資料ということで1案2案の比較資料も全委員さんにはお渡ししております。それが皆さんのところに引き継いでいないような感じもいたしますので、それを改めてお配りさせていただきたいと思います。それにはそれぞれ1案2案の比較表がございますので、それを見ていただくとそれぞれの案のメリットとデメリットが分かるかと思ひます。その辺も含めて、各PTAの方で説明をということであれば、説明にお伺いできればと思ひます。

委員長

色々なPTAや役員の意見を聞きながら計画を作っていた方が良いのではないかとひことで、計画を示して、それについて賛成か反対ですけれども、私も前回の廃案になった計画の時の地域の説明会に出させていただきまされたけれども、なかなか地区のなかで意見がまとまらない。みなさん言いつ放しで。父兄を集めて意見を聞いてそのなかで計画を立てようとしても、時間だけが過ぎて何もまとまらないと思ひ。1つの地区の意見もまとまらないのに、全部でやって、それぞれの地区の考え方もあります。自分の地区に学校を持ってこいと言うような意見はもう出てこないと思ひのですが、自分の地区の学校が無くなるのは嫌だと。大勢と言うのはなかなか意見がまとまり

ません。なので、今言ったようにPTAのなかでよく説明をしてもらい、そのなかで考えてもらい大筋でまとめて来てもらうしか他にないと思います。もう皆さんの学校のPTAの会議は終わったのでしょうか。

山本（貴）委員

教えていただきたいのですが、複式学級のデメリットとはなんですか。上の娘の時にこの会に出ているのですが、その時に何年後かに複式学級になるから合併しますという話でしたが、子どもたちからしたら困ったことはあるのかと思います。実際に複式学級をやってみて感じる事が個人的にあります。話は違うのですが、離島などで合併したくてもできないので、そのなかでも10人11人で学校をやっているところもあるかと思っています。何がデメリットなのか詳しく教えていただきたいです。

事務局長

複式学級は先ほど申し上げましたとおり、現在は複式学級にならないように職員を配置しております。なので、完全な複式学級と言うところまでは至っておりません。町の複式学級補助教員配置がなくなると完全な複式学級になりますので、1人の先生が同じ教室で両方を見るという状況になります。そうなるとなかなか厳しいかというのが先ほどのお話です。色々複式学級になると長所、短所があります。デメリットの部分については、1人の指導者が2学年を同時に指導することから学習指導課程に相当な工夫をしなければいけないというのがございます。それから学級編成基準による2つの学級で編制されることから個人の能力、学年差がありますので、その辺の生じるというデメリットがございます。学習経験だけではなく生活経験においても1年間の差があるという部分を埋める問題点もあるかと思っています。その他にも、人間関係での葛藤を経験する機会に恵まれにくいということや、適正な競争意識を持たせることが出来ないなど一般的なデメリットがございます。校長先生の中で、複式学級を経験されてた先生がおられましたら、メリットとデメリットについてお話していただけないでしょうか。

高橋委員

若いときに2、3年生の複式学級の担任をしたことがあります。その時には今のように町の負担の教員をつけてもらっておりませんでしたので、2年と3年の7人ずつの14人のクラスを担当しました。前と後ろに黒板をつけて頂いて、算数の授業はまず2年生に前の黒板を使って教えている間、3年生には自主学習をしてもらい、20分くらい経ったら2年生が自己解決の時間に入るときに3年生に授業をします。子どもは前を見ても後ろを見ても7人ずついるような形でした。こんなこと言うのもなんですが、その時が一番教材研究をしており、寝ずにプリントなどを作ったり、2年生と3年生を待たせずにきちんとできるかと言うのを考えたりして苦労した覚えがあり

ます。ただ、現在のように授業をやってくださる先生を配置していただいているので学力面が落ちるといったことは無いかと思いますが、もしそれが出来ないとなれば担任になる先生がご苦労されます。ただ悪い面だけではなく2年と3年が一緒にいることによって、助け合ったり、足りない所を補ったりするところもあり、複式学級だからと言って全て悪いということではないと思います。私はそのなかでも子どもたちは育ってきたと思うのですが、学習の面につきましては、かなり工夫をしないとやっていけなかったというところで、今それを渡りの授業と言うのですが、賀茂郡のなかでは教員を配置してもらっておりますのではないかと思います。

安達委員

では、現状で教室では完全な複式になっていないということでしょうか。

事務局長

はい。現在、町が負担して配置をしておりますので、完全な複式にはなっておりません。

安達委員

それがゆくゆくは完全な複式になりますという話で統合した方が良いという元々の話ということで考えてもよろしいですか。

教育長

もともとの話と言うのは少人数においても多くの子どもたちのなかでというのが考えにあります。今複式ということで特に焦点が絞られておりますが、複式になり、それを解消するためにこちらの方でも説明しましたが、かなりのお金がかかります。それからもう1つ困ったこととしまして、なかなか先生がおりません。そこについていただける先生が見つけれない。今年は昨年度のことですがたまたま見つけられました。これらがいくつも数が増えた場合には難しいことになるのではないかと考えております。

委員長

凄く少人数でも複式学級でもいいのではないかと、もう無理に統合しなくてもいいのではないかとという考えも人によってはあるかと思いますが、ただこの伊豆地区の全体的な流れを見ますと、どこも統合に進んでおります。だから考え方や流れは統合に向いていると思います。ただ幼稚園については、個人的な考えですが、幼稚園はどちらも津波浸水域にあるので統合して高台にもっていくのがいいのではないかと、なるべく早く安全な所へ持っていくべきではないかと個人的に思います。

事務局長

1案2案も平成31年度に賀茂幼稚園を伊豆海認定こども園の方に統合させたいということで保護者説明会を先日いたしました。そのなかでは来年度

の統合について皆さん賛成ということで反対の意見は無く、この部分については来年度に園の統合をしたいと考えております。この案を提示させていただいた時に、その点につきまして前日も皆さんから異論はなかったと思っておりますが、それについてのご意見もあれば本日お伺いできればと思います。

委員長

事務局の話ですが、特に幼稚園の会長方は意見ありますか。今の話ですと賀茂幼稚園は来年度に廃園になるという話です。それについても異論はありませんか。PTAの方からは異論はなかったという話ですが。

鈴木（雅）委員

話が変わって申し訳ございませんが、第2案の方で松崎中との統合とあるのですが、松崎との話はどれくらい進んでおりますか。

教育長

松崎との統合については、教育長レベルでは話をしております。前回出したなかで、松崎までのことを考えていくと非常に話がややこしくなるということで、今回の提案のなかでは一度中学校は賀茂へと移り、それからの話として2つの選択肢があると考えております。

1つは小学校の人数は減っていき、中学校も減っていきます。そうしたなかで、新しく出来た小学校の校舎へと中学校が入ることがやがて可能になります。もう1つが松崎中との統合を視野に入れて、松崎との交渉を進めながら考えられる場所へと移転して、現在の松崎中もあまりいい位置にありませんので、新しい場所へ最終的に3校が統合というのもあります。ただし、その選択についてはここでは考えず、次世代の方で考えていただくと今のところは考えております。

山本（豊）委員

先ほど統合案が考えられてから時間が経過して、それから洋らんセンター跡地の候補の案が白紙になり、改めて案を検討されたということだと思っておりますが、かなり時間が経っていくと、委員で今まで検討されてきた方がずっと残っているということはほとんどないと思っております。先ほど教育長が多くの子どもたちのなかで子どもを育てたい。それから安全な地に移したい。こういうふうにおっしゃって、具体的には修学年数の長い小学校を中心にして、幼稚園をそれに加えるか中学校を加えるかの案で1案2案が出来ていますということだと思っておりますが、先ほどPTAの方に説明をしてくれと言うのは、こういう考え方をしておりますということを説明して欲しいということだったと思っております。教育長の答えはパブリックコメントと同じで、こういう案が出たのでどうでしょうかというように聞こうとしているから、多くの意見を聞いてもまとまらないという答えになってしまうと思っております。皆さん統合するのに心配事はどうでしょうかというのを聞いたうえで、こういう検討した

結果でこうなりましたということだったら分かると思います。それで質問ですが、3つのところを1カ所にまとめた案は敷地が取れなかったという説明だったと思うのですが、それは同じところに造るということを前提にしたのでしょうか。例えば仁科の小学校と中学校のところに小中を一括して造り、幼稚園を別のところに造るという考え方は無かったのでしょうか。それから組織上の問題があるのかもしれませんが、高校の統合については県の教育委員会が案を示しておりまして、今話題になっているのが横須賀高校を存続してほしいという話があります。県から小中の管理については命令が出ているかと思いますが、合併についての勧告と言うのは無いのでしょうか。

教育長

合併に対する勧告とものは今までに聞いたことは無いです。

山本（豊）委員

無いのですか。当然命令も無いと思いますが。こうしたらどうかと言うのは教育環境を考えた時に、これからは出てくるかというような気がしてきます。

教育長

それからもう1つお話に合った、こども園、小学校、中学校を1カ所にまとめるということについては。

山本（豊）委員

1カ所ということではなく、要するに町内で場所を別にするという案を検討しなかったということです。幼稚園をもう少し上に持って行って、小学校と中学校を今のところで建て直すという検討はされなかったのですか。3つ一緒ですと敷地が取れないというのは当然のことだと思います。

教育長

そのことも考えた上でやはり2つだろうとなりました。避難路として山へと逃げられるようにということで、山の近くにということは考えました。山の近くで新しく用地を求めるとしたならば、現在の西伊豆中のグランドの川よりになると思いますが、そこについても考えはしましたが、万が一大きな津波が来た時に、山への避難路の近くが良いということ、それからそこもまた高くしなければならぬということもありますので、その部分については1カ所にまとめるということについては無理があると考えました。

山本（豊）委員

1カ所にまとめることしか考えなかったのかということです。

事務局長

なるべく公共用地を有効に使うという考えの中で、西伊豆中のところに1案としましては小学校と中学校を一緒の場所に建てる、2案については小学校をまず建てて、人数が減ってきた段階で小中一貫校として活用したいとい

うことになります。全部がばらばらにという考え方は用地の関係もありましたので、考えておりませんでした。

山本（豊）委員

考えていなかったということですね。幼稚園なら幼稚園で別のところへ作ればいい。仁科なら仁科に。安全な地域に持っていきたいと言っているのだから。もう少し上に持っていくという検討はしなかったということですね。

事務局長

幼稚園については教育長も仁科の上の方を検討しましたが、浸水域外で診療所が近くにあり病後保育、病児保育も可能になるということで、安良里の用地を選定させていただいたということでもあります。

山本（豊）委員

西伊豆病院がありませんか。おかしな話になってしまう。

教育長

本当に津波浸水域外ということであった場合には一色あたりまで考えなければならぬと思います。津波浸水域なのかは定かではありませんが、少なくとも現在消防署がある位置よりも上となり、そうなりますと送迎も困難なことになります。そのところは別のところで別のところで考えました。

山本（豊）委員

消防署より少し上なら浸水域ではないのでしょうか。

教育長

そのところも考えて、親たちが送迎を行うのか、それならば別の適地があるのではないかとということで見つけたのが、案にあります安良里の適地となります。

山本（豊）委員

そこを説明してあげないと、幼稚園をそこに持つていくために代わりに中学校をこちらに持つてこないといけないとか、代わりに幼稚園をこっちに持つてこないといけないとか、こういう説明をしてあげないと分かりにくいです。

事務局長

新しい委員さんに今まで説明してきたことが伝わってなくて大変申し訳なかったのですが、そうなりますとまた1から説明しなければならないかと感じております。幼稚園の位置については、前回の委員会のなかでも安全な場所で安良里に置いて、なおかつ小学校は仁科の方が良いのではないかとという方と、あくまでも放課後児童クラブを利用されている方等については、保育園と小学校が一緒でないと迎えも大変になるという意見もございました。ですので、その辺も踏まえてどちらの案が良いのか考えていかなければいけないかと思っております。

山本（豊）委員

合わせてもう1つ質問です。今日委嘱状を見させていただいて、1年間となっておりますが、町の規則でそうなっているかと思いますが、このような専門的な要素を検討する時に1年交代でいいのでしょうか。そういう検討はされなかったのでしょうか。

事務局長

要綱で2年任期になっております。今回は残任期間ということで残り1年ということになっております。

山本（豊）委員

2年間変えずにやればよかったのではないのでしょうか。

事務局長

2年間変えないということは、出来たらお願いをしたいということをPTAの方にはお願いしているのですが、山本貴令さんは前回委員をやられた時に2年間やっていただいております、PTA会長を変わられてもやられている方もいらっしゃったのですが、なかなか皆さん変わられますと。

山本（豊）委員

当て職で組むのでそうなります。ここに意見として求めたいものは、そういった方々に意見を聞きたいということをお願いをするのですが、終わった後に引き続いてやっていただきたいと半強制的というような形の委託の仕方はできなかったのですか。

事務局長

事務局としては、おっしゃっていただいたように半強制的にお願いできればいいのですが、各PTAとしては難しいのかと考えております。続けて就任していただきたいとのお願いはさせていただいております。

委員長

地区の代表で出ていただいている方は引き続いてやっていただいているので、経過等は分かると思うのでいいと思いますが、ただPTAの役員は例えば自分の子どもが抜けて席が無いので、引き続いてやろうというのはなかなかいないというのはPTAの会合であったようなので、難しい面もあるのかと思います。

教育長

本当にこの会を迎えるにあたって、1案2案の細かな説明はどうだろうかということで、局長と話し合っており、そこをやっていくとなかなか話し合いが出来ないというなかで、1案2案についてはそれぞれ引継ぎが出来ているという前提でスタートさせていただいたところがあります。そのこのところの見込みが甘かったのかというように思っているところです。話のなかで各学校、園で説明会をとということでありますので、希望するところにつきまし

ては、出向いて説明をさせていただこうというように思います。

山本（貴）委員

各施設にいくということですか。保育園ならば保育園と言うようなことですか。

教育長

それはみなさんの要望次第でお答えしたいと思います。例えば田子なら田子で、伊豆海と田子小学校の保護者をということであれば、そのようにさせていただきます。

山本（貴）委員

保育園に預けている人で、小学校や中学校でも該当する人もいますので、1回で済むように地区ごとでやっていただけるとありがたいです。

安達委員

まとまって行った方が色々な意見が出てくると思います。

山本（貴）委員

保育園の意見も聞けると思いますし、これが田子というように割振ってしまっては悪いのかもしれませんが、宇久須、安良里、田子、仁科と全部含めてやってしまうと。それが出来るのであればそれでもいいのかもしれませんが。

教育長

その場に出てきた意見と言うのは、当然耳には入ってきますが、それをさらにまとめようとするときには、皆様のお力を貸していただければと思います。

安達委員

そういうのをやった後にアンケートを取ると、より分かりやすいのではないかと思います。

教育長

でしたら、そういう説明会の時には声の大きな、何度も発言する方の意見がかなり強いものを持っており、アンケートの結果にも影響を与えるということもありますので、そのあたりの運営につきましては、それぞれの園長先生や校長先生あたりとお話しいただければと思いますが、如何でしょうか。

高柳委員

あくまでも話は合併ありきですか。

教育長

そのことで昨年度からその方向来てまいりました。

高柳委員

この2024年には既存中学校を取り壊して、何らかの建物を建てて小中

一貫という形ですか。

教育長

小中一貫と言うのはまだないです。できればこの会で1つ絞ればと言うのが最初の話に戻りますが、しかしまたこのなかで説明が必要であるということであれば、そのようにお答えするしか私の方では方法は無いと考えております。

事務局長

1案2案につきましても、この計画で行くとなると、今年の12月の議会にある程度設置条例等を出していかないと間に合わないのかと思っております。ですので、なるべく早く方向性を決めて、最終的な案を再度保護者の皆様に説明をして決定していきたいと考えております。

委員長

この案というのは、当初言いましたように、このような案がいだらうというものをまとめて、それを最終的には町長や議会にということになっておりますので、例えば話がまとまらなかったらこの2つの案で話をしましたという話をして、こう言うては悪いのですが、後は町長で進めてくださいというようなことに、もしかしたらなるのではないかと分からないので、方向性を決めて議会に出したいと思っております。最初に言ったように洋らんセンター跡地が使えると前提の時には、洋らんセンター跡地に幼稚園と小学校を新設という話でまとめ、後は中学校をどこに持っていくかというのを議論する所まで話は行っていたのですが、そこが駄目になってしまったので白紙になってしまい、最初からやり直しになってこのような議論になりました。

教育長

説明会について、1案と2案の説明ということでよろしいでしょうか。3案や4案が出てくればそれも含めてということになったかと思うのですが、今のところ出てきませんので、1案2案の説明でよろしいでしょうか。

(賛成の意見あり)

教育長

では、そのようにさせていただきます。それから単独でやるのか、合同でやるのかについては、それぞれのPTA会長さんの方でお互いに連絡を取っていただいて一緒にやれるところは一緒にやるという方向でお願いできればと思います。6月は6月議会ということで日程的に厳しいですし、5月中と言うのはみなさんも厳しいと思います。6月中旬あたりでよろしいでしょうか。お互いに重ならないようにということで。

委員長

6月中旬ということで、あと1月と少しですが、その間に皆さんの方で(聞き取り不明)事務局の方で説明をしてもらい、ある程度案をまとめて、次の

委員会までにということでいいでしょうか。

長島委員

年何回やるのですか。

委員長

年何回ということではなく、まとめればそれで終わりです。極端な話ですが、次の委員会で決まればそれで終わりとなります。

長島委員

昨年を見ると、年4回でした。

委員長

話がここまで延びましたので。結局3回目の時にはまとまりそうでしたが、洋らんセンター跡地が駄目になったので、4回目と言うようなことになりました。もし洋らんセンター跡地が使えればそこで終わったかもしれません。

山本（貴）委員

最初の時は5回位ありませんでしたか。

事務局長

予算上は5回分あります。12月までに結論が出せるのであれば4回程で終わるのではないかと考えております。統合方針が決まった段階でもう一度保護者説明会をさせていただきたいと考えておりますので、短期間での委員会開催になると思います。

山本（豊）委員

12月議会までとなると、最終的な案の集約をどこの時点で考えるか。ようするに後ろを決めたいということであれば、後ろは10月を目途としたいというものはありますか。

事務局長

今回色々な意見が出て、それを受けて次回の委員会で町としての方向性をお示しをできるかと思っていたのですが、それが難しい状況になりましたので、10月くらいには最終案を委員会でお示しできればと考えております。

山本（豊）委員

日程的に考えますと10月くらいでないと、議会には案件をかけられません。そうすると説明を求めるところが仮にありまして、説明をしてその後にアンケートを取るのかは別にしまして、そこで意見を聞いてきまして、それらを事務局として分析したうえで、次回に提示されるということになるかと思いますが、そうなりますと次回が7月頃になりまして、それらを基にして、8月か9月頃に最終案の絞り込みをしたいというスケジュールで考えていくことでよろしいでしょうか。

事務局長

概ねそのようなスケジュールになるかと考えております。

委員長

それはその間に地域の説明会を開くということでしょうか。

事務局長

現時点では地域説明会ということではなく、保護者説明会ということに進めたいと思います。保護者説明会、地域説明会を開いておりますと、そのスケジュールでは難しいと思います。

委員長

保護者説明会と言うのは学校ごとに開くということと考えておりますか。

教育長

それはそれぞれの要望により応えたいと思います。年間のスケジュールについては、こちらにあるかと思いますが、こちらの方は見直しが必要になるかと思っています。

委員長

だいぶ時間も経過しましたが、事務局に説明してもらわなければ分からないという意見が何件かありましたが、皆さんの要望で今言ったようになりまして、説明会を開いてある程度の各PTAの意見をまとめて、次の委員会に持って来ていただくこととなります。そして6月の中旬以降がいいのではないかという事務局の案ですが、本日が5月9日ですが皆さんのスケジュール的にはよろしいでしょうか。

教育長

6月中旬と言うのは説明会になります。次回の委員会は7月です。

委員長

委員会は7月になるそうです。それでよろしいでしょうか。

鈴木（仁）委員

次の委員会の時に、各PTAでまとめた意見を結果として出すのでしょうか。

委員長

ある程度の方向を自分たちで話し合った結果、こういう案でしたということを出してもらいたいです。

鈴木（仁）委員

では、西伊豆中学校は1案で確定ですというような話をしなければ決まらないということですね。

委員長

案がありましたらこういう案でどうだろうかということ。

鈴木（仁）委員

色々な意見を言われると思いますが。

委員長

完璧にはまとまらないとは思いますが。どの案でも不安は出るかと思いますが、ある程度のところでまとめなければ、終わりません。

鈴木（仁）委員

地域説明会の後に学校で総会を開いて、そのなかで決めた答えを話すということですね。

委員長

できたらある程度自分たちのPTAの意見をまとめてきて貰えればありがたいのです。

教育長

傾向ができれば、その意見で。傾向が見られない、同数くらいの場合であればここに出てきている委員さんの考えでどちらかということやっていただければと思います。今日も最後にそれぞれどちらかということで、委員長の考え次第ですけれども、手を挙げていただければいいかと考えました。

事務局長

事務局案として、1案2案を前回示させていただいたのですが、前委員さんからも1案2案だけでなく、ミックスした他の案も提示して良いかという意見もありましたので、こういう案がベストではないかと多くの意見があるようならば次回の委員会で提案していただいてもよろしいかと思えます。

委員長

他に何かご意見がありますか。

事務局長

6月の説明会ですが、PTA会長さんで協議をしていただいて、2日か3日程度の候補日を挙げていただければ、事務局の都合が付く日でお伺いをさせていただければと思います。会場の方も決めていただければ、そちらに出向かせていただきたいと思えます。出来るだけ早く事務局の方に候補日を挙げていただければと思います。

委員長

そういうことでよろしいでしょうか。それでは閉会を副委員長にお願いしたいと思います。

副委員長

大変ご苦労さまでした。前回終わるときに引継ぎをよろしくお願ひしますというようなお話をさせていただいたのですが、やはり難しいと思えます。私も地域に話をしたり、区長会で話をしたりしたのですが、やはり質問が来ます。質問については私も答えることはできないということで、難しい問題です。前回、洋らん跡地については、ほぼそこでいだろうということになりました。今回の違うところは、1案2案とこういうようなことで難しくな

ったという状況です。そうしたことで今日皆さん方にお計らいしました6月中旬頃の説明会を開いてもらいたいところです。次回は7月頃の委員会になるということですので、それまでにそれぞれのところの決定事項は出来ないかと思いますが、意見を聞いてきてもらい、ここで発言していただきたいと思います。そうしたことで、お集まりしていただきましたけれど、これからが正念場になります。夜間の会議になりますが、よろしくお願いします。大変ご苦労さまでした。

以上